

内水試 かわら版

茨内水試図
112

プランクトン情報

〔霞ヶ浦〕 三月中旬から増え続けていたフオルミデイウムは四月下旬になって減少の兆しが見られるようになってきました。過去の例からみて、フオルミデイウムの増え始めてから消えるまでの期間は1ヶ月半、長くても二ヶ月以内となっており、このことからすると遅くとも五月中旬にはほとんど見られなくなるものと予想されます。また、今回フオルミデイウムと同時に増殖していたその他のプランクトンも同じように減少してきていますので、このまま天候のぐずつきが続けば透明度が増すことになるでしょう。

〔北浦〕 フオルミデイウムの増殖は霞ヶ浦に比べておよそ二週間遅れており、五月八日現在で一旦当り五万のオーダーに達しています。この増殖の勢いもおそらく今がピークで、ここ一週間内には減少に転じるものと思われる。

イサザアミ好漁の兆し？
イサザアミは内水試の試験曳きにおいて、例年になく大量に採れており、親の生き残りが多いことから次世代のイサザ資源も期待できそうです。なお、四月二六日の時点でプランクトンネットでイサザの子供が採集されています。

プランクトン情報 VI

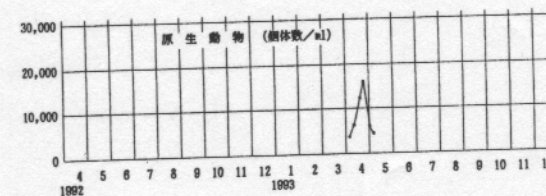
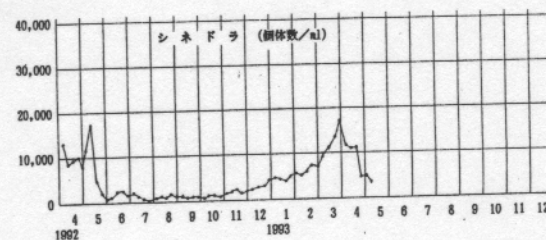
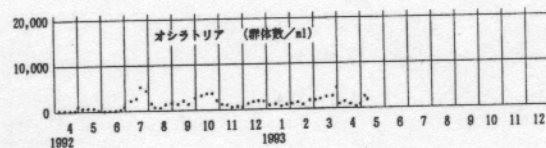
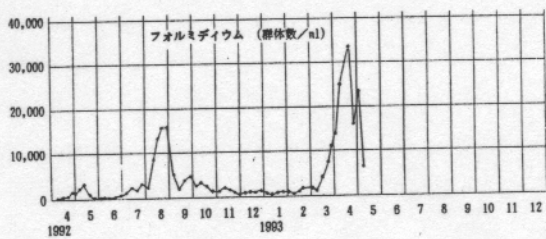
茨城県内水面水産試験場

現在の優占プランクトンの種類と量 (3/1) [平成5年5月8日現在]

地点	藍藻類		珪藻類			原生動物	水温 (°C)	DO (ppm)	透明度 (cm)	
	フオルミデイウム	オシラトリア	シネドラ	スツリノディウス	メロシラ					
霞ヶ浦	下玉里	10,855	1,105	4,180	1,495	195	9,815	17.3	6.5	45
	内水試前	6,045	2,145	3,445	2,730	280	4,815	16.2	7.2	60
	午波	11,180	2,015	1,825	1,755	65	11,440	17.9	10.6	55
	手賀	7,865	1,820	4,030	2,015	195	7,670	15.8	7.1	55
	五町田	7,085	1,825	1,365	1,755	280	6,630	16.4	11.0	62
北浦	梶山	27,690	455	5,655	390	65	7,930	18.1	12.5	56
	阿玉	51,025	455	4,815	845	-	6,175	17.6	15.2	50
	江川	48,555	455	6,565	325	65	3,770	17.5	13.4	45

主要プランクトンの季節変化

地点: St. 霞ヶ浦 (内水試前)



地点: St. 北浦 (江川)

